

秋シーズン第6戦。入れ替え戦がかかった TRIDENTS にとって大事な一戦。なんととしても勝利を取りたい。



1Q



大教大のキックにより試合開始。自陣 27yds より阪大が攻撃開始するがフレッシュできず パントを選択。大教大の攻撃となり、ランで確実にフレッシュを重ねられ、阪大 D#も奮闘 するが TD をとられてしまう。TFP のキックも成功し、0-7。大教大のキックにより試合再開。阪大攻撃となり、フレッシュを獲得するも最終的にパントを選択し大教大の攻撃となり フレッシュされ、ここで第1Q 終了。

2Q

敵陣 35yds から大教大の攻撃が再開。ここでもフレッシュを重ねられ、また阪大 D#にパス インターフェアの反則が発生したため、なかなか流れを変えられずに 2 度目の TD を許してしまう。TFP のキックも成功し、0-14。大教大のキックにより試合再開。4 回生 RB#24 坂本がランを重ねてフレッシュするもパス失敗が続きパントを選択。大教大攻撃となり、ここでもフレッシュを重ねられ、ロングパスが成功しそのまま TD。TFP のキックも成功し、0-21。阪大攻撃となるが、フレッシュできずにパントを選択し攻守交替。大教大攻撃となり、大教大 QB に 53yds ランされたりとフレッシュを重ねられ、4 度目の TD。TFP のキックも成功し、0-28。大教大のキックにより試合再開。自陣 47yds より阪大攻撃となるがフレッシュできずにパントを選択。攻守交替し、第2Q 終了。



3Q



阪大のキックにより試合再開。1 回生 K#8 橋野の蹴ったボールは 20yds リターンされ、自陣 29yds から大教大攻撃が開始される。しかし、その後もフレッシュされ続け、最後にはロングパスを決められそのまま TD されてしまう。TFP のキックは失敗となったが、阪大は 点差を埋められずに 0-34。攻守交替し、自陣 29yds よ

り阪大攻撃。阪大にホールディングの反則があったが、4回生 QB#6 渡辺の力強く投げたボールを3回生 WR#13 柴山が見事にキャッチし 19yds ゲイン。その直後も4回生 WR#81 鈴木へのロングパスが成功しフレッシュ。RB#24 坂本もランを重ね、QB#6 渡辺から2回生 RB#33 正垣へのパスが成功し TD！TFP では2回生 K#16 森のキックが成功し、7-34。しかし、攻守交替するとQBに50ydsのロングゲインを許してしまい阪大D#はなかなか大教大O#を止められずに6度目のTDを決められてしまう。TFPのキックは失敗し、7-40。大教大のキックにより試合再開。3回生 RB#21 和田が30ydsリターンし自陣43ydsより阪大攻撃開始。QB#6 渡辺からWR#13 柴山へのロングパスが成功し48ydsゲインしてフレッシュ、ここで第3Q終了。

4Q

敵陣9ydsより阪大攻撃再開。RB#24 坂本によるランでTD！K#16 森のキックも成功し、14-40。阪大のキックにより試合再開。K#8 橋野の蹴ったボールはタッチバックとなり自陣25ydsより大教大攻撃開始。阪大D#は4回生 DL#99 西川のタックルにより3ydsロスさせ奮闘するもフレッシュを重ねられ7度目のTDを許す。キックも成功し、14-47。自陣35ydsより阪大攻撃開始。QB#6 渡辺からWR#13 柴山へのロングパスが成功し47ydsゲインしフレッシュするも次シリーズでギャンプルに失敗し、1st down獲得に至らず攻守交替。続く大教大攻撃ではフレッシュされるもパントにより攻守交替。阪大は自陣13ydsから攻撃を開始するも点差を埋めることはできずここで試合終了。



リーグ最終戦である次節岡山大学戦は必ず勝利し、最後まで勝利に貪欲であり続けたい。 BE ONE.